



平成29年度

第1回トップマネジメントセミナー 「最新情報技術の活用と可能性」

ヒトやモノがデジタルデータで直接つながり、地域や時間、移動といった様々な制約を気にすることなく、新たな仕組みを作り出せる現代。ITの浸透によって、人々の生活をあらゆる面で、より良い方向に変化させる時代が到来している。

本研修において、最新情報技術を活用した先進的な取組などを学び、自治体におけるデジタル化の推進、アナログとデジタルの融合による行政サービスの向上やコスト削減など、さまざまな可能性を探ります。

平成29年10月23日(月)

大転換の時代;タニタが挑む健康のパラダイムシフト

株式会社タニタヘルスリンク 代表取締役社長 丹羽 隆史 氏

巨大産学官民連携チームが超多項目健康ビッグデータで

「寿命革命」実現をめざす

弘前大学教授・副理事(研究担当) 村下 公一 氏

平成29年10月24日(火)

AI、IoTが促すデジタルトランスフォーメーション

日本経済新聞社 編集委員 関口 和一 氏

ロボットと暮らす未来と新たな社会規範

大阪工業大学ロボティクス&デザイン工学部ロボット工学科アクチュエータ研究室 教授

本田 幸夫 氏

開催要領

日程 平成29年10月23日(月)～10月24日(火)(2日間)

場所 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩3分

対象 市区町村長・副市区町村長及び部長級職員
市区町村議会議員(議会事務局を通じてお申込みください。)

2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数 60人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費 6,650円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食1回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限 平成29年10月6日(金)まで

申込方法 JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申込ください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書は、JIAMホームページの書類様式集(<http://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定 受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp 【ホームページ】 <http://www.jiam.jp>

平成29年

10月

23日(月)

11:00 ~

入寮受付・昼食

13:00 ~

開講・オリエンテーション

13:15 ~ 14:55

大転換の時代;タニタが挑む健康のパラダイムシフト

株式会社タニタヘルスリンク 代表取締役社長 丹羽 隆史 氏

15:15 ~ 16:55

巨大産学官民連携チームが超多項目健康ビッグデータで『寿命革命』実現をめざす
-「健康づくり×まちづくり」にヘルスケアBIZを融合した真の社会イノベーション創造-

弘前大学教授・副理事(研究担当) 村下 公一 氏

17:30 ~

交流会

平成29年

10月

24日(火)

9:00 ~ 10:00

AI、IoTが促すデジタルトランスフォーメーション

日本経済新聞社 編集委員 関口 和一 氏

10:15 ~ 11:15

ロボットと暮らす未来と新たな社会規範

大阪工業大学ロボティクス&デザイン工学部ロボット工学科アクチュエータ研究室 教授 本田 幸夫 氏

11:30 ~ 12:00

デジタル技術で変わる私たちの暮らし【対談】

日本経済新聞社 編集委員 関口 和一 氏

大阪工業大学ロボティクス&デザイン工学部ロボット工学科アクチュエータ研究室 教授 本田 幸夫 氏

12:00 ~ 12:15

閉講・事務連絡

講師紹介

丹羽 隆史 氏 株式会社タニタヘルスリンク 代表取締役社長

1990年中央大学法学部卒業後、ミサワホーム株式会社に入社。2003年コナミ株式会社に入社、コナミホールディングス経営企画GM、コナミスポーツ&ライフ商品開発部長、法人営業部長他歴任。2013年株式会社タニタ入社、2016年よりCHO、ヘルスケア事業担当執行役員。株式会社タニタヘルスリンク代表取締役社長を兼務しており現在に至る。経済産業省 次世代ヘルスケア産業協議会健康投資WG委員。

村下 公一 氏

弘前大学教授・副理事(研究担当)、弘前大学COI研究推進機構(医学研究科)・機構長補佐(戦略統括)、

弘前大学健康未来イノベーションセンター・企画戦略部門長(兼任)、弘前大学医学部・学部長講師(社会医学講座)(兼任)

青森県庁、ソニー、東大フェロー等を経て2014年より現職。弘前大COIでは戦略統括として産学連携マネジメントを総括。文科省COIとAIとの新たな展開検討会合委員他政府系委員等多数。専門：地域産業(イノベーション)政策、社会医学。

日本医学会総会(未来医XPO)をはじめ、HOSPEX、ITPro、World of IoT展、国際モダンホスピタルショー、MEDTEC、世界健康首都会議など医療・健康分野のビッグイベントでの講演も多数。

関口 和一 氏 日本経済新聞社 編集委員

1982年一橋大学法学部卒、日本経済新聞社入社。88-89年フルブライト研究員として米ハーバード大学留学。89年英文日経キャップ。90-94年ワシントン支局特派員。産業部電機担当キャップを経て96年より編集委員。2000年から15年間、論説委員として情報通信分野の社説を執筆。2006年より法政大学大学院客員教授、08年より国際大学グローコム客員教授、15年より東京大学大学院客員教授。

09-12年NHK国際放送ニュースコメンテーター。12-13年BSジャパン『NIKKEI×BS Live 7PM』メインキャスター。早稲田大学、明治大学の非常勤講師なども兼務する。

著書に『パソコン革命の旗手たち』(日本経済新聞社)、『情報探索術』(同)、共著に『未来を創る情報通信政策』(NTT出版)、『日本の未来について話そう』(小学館)など。

本田 幸夫 氏 大阪工業大学ロボティクス&デザイン工学部ロボット工学科アクチュエータ研究室 教授

デンソー、パナソニックを経て2013年より大阪工業大学ロボット工学科教授、ロボティクス&デザインセンター長兼任。

大阪大学大学院医学系研究科 招聘教授。国立研究開発法人日本医療研究開発機構 ロボット介護機器プロジェクトスーパーバイザー。normalizationに視点を置いたサービスロボットの普及を目指して産業技術総合研究所発技術移転ベンチャー アルロボット株式会社、MARI株式会社の代表も務める。

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。